

# 創徳中学校通信



## 開発者は気づいています

6月15日(水)からテスト週間に入ります。期末テストに向けて勉強に集中するために部活動も休みになります。中間テストで思うような成果が出せなかった人はこの期末テストで挽回できるように頑張ってください。さて、今日子どもたちの生活に大きな影響を与えているもののひとつにスマートフォンがあげられます。私自身スマホの利便性を理解しつつも、使い方によっては生活習慣や健康に悪影響を及ぼす危険性があることも承知しています。以前目にしたスマホなどに関する興味深い記事を紹介しします。

2010年、アップルの創業者スティーブ・ジョブズは最初のiPadの製品発表会を開く。「インターネットにアクセスできる、比類なき、驚くべき、特別な可能性をもたらす」一画期的商品だとジョブズは口を極めて絶賛した。そのしばらく後、ニューヨーク・タイムズ紙の記者がジョブズにこんな質問を投げかけた。

「自宅の壁は、スクリーンやiPadで埋め尽くされてるんでしょ？」

すると何とこんな答えが「iPadはそばに置くことすらしない」

ショックを受けている記者にジョブズは続けて、iPadはおろか、すべてのデジタル機器について、わが子のスクリーンタイム(視聴時間)を厳しく制限していると伝えたのだ。

こうした態度をわが子に示しているIT企業トップはジョブズに限らない。マイクロソフトのビル・ゲイツも、子どもが14歳になるまでスマホを与えていない。

アップルの幹部トニー・ファデルはこう言っている。「冷や汗をびっしょりかいて目を覚ますんだ。僕たちはいったい何を創ってしまっただらうって。うちの子供たちは、僕がスクリーンを取り上げようとするとまるで自分の一部を奪われるような顔をする。そして感情的になる。それも、激しく。そのあと数日間、放心したような状態なんだ」

フェイスブックの「いいね」機能を開発したジャスティン・ローゼンスタインなどは「依存性ではヘロインに匹敵するから」として本来は保護者がわが子の使用を制限するためのアプリを自身のスマホにインストールした。



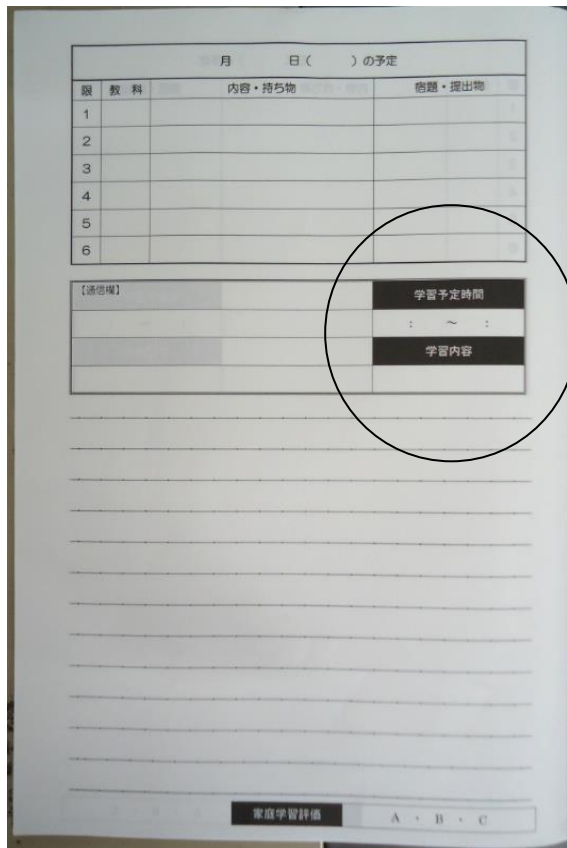
上の記事は教育大国スウェーデンの精神科医のアンデシュ・ハンセン氏の著書『スマホ脳』から引用されたものです。記事から分かるように開発者自身がスマホなどの危険性を十分理解しているのです。このようなことからスマホなどの使い過ぎに歯止めをかけるために、創徳中学校区の小学校(飯野、清和、牧田)と連携し、スマートフォン、テレビ、ゲームなどのデジタル機器の使用を控え、家庭学習や睡眠時間を確保する期間を設けようということになりました。期間は基本中学校の定期テスト週間に合わせることになりました。本校は6月15日(水)~6月23日(木)の9日間を「NO!メディア週間」(各校において名称や期間が異なる場合もあります)とします。この期間はデジタル機器の使用を控え自分の時間、相手の時間を大切にする期間にしてください。

# 「NO！メディア週間」を迎えるにあたって

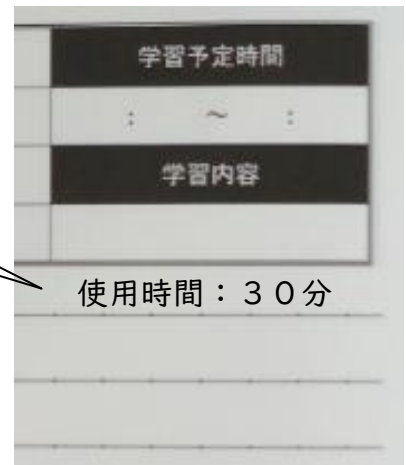
表にも書きましたが6月15日(水)～6月23日(木)の9日間を「NO！メディア週間」とします。「NO！メディア週間」はスマホやゲーム、テレビなどの使用・視聴時間を自己管理し、テスト勉強に集中することを目的としています。そのために、ライフに使用時間を記録してください。また、テスト勉強に集中するのは「自分」だけでなく「他の人」も同じです。

自分が休憩時間だからといって「他の人」も休憩時間とは限りません。勉強に集中している時間かもしれません。この期間中はLINEなどのSNSでのやり取りも控え、お互いの時間を大切にしてください。ここで一句

「無視じゃない 返信ないのは 勉強中」



ここに記録してください。



2学期の「NO！メディア週間」(予定)

【中間テスト週間】  
9月19日(月)～9月26日(月) 8日間

【期末テスト週間】  
11月15日(火)～11月24日(木) 10日間

## 【ちょっとうれしい出来事】



○体育祭の翌日「校長先生！筋肉痛大丈夫ですか？」と私の体を気遣ってくれる生徒がいました。

○朝のあいさつ運動、真面目に取り組んでくれています。各委員会の人ありがとう！

【お詫び】 通信第6号で学校運営協議会委員長の藤見康司さんのお名前の読み仮名が間違っておりました。お詫びして訂正します。(誤) ふじみこうじ → (正) ふじみやすし